

玉手さんからアノリ  
まことさんへの用子

小学校の同級生 玉手さんとアノリ

まことさんへ まことさんへ と云う

賀松さん 達筆にこうく とおかれたいと

思われたい

昔 お心当を 望んで来て

ここに いよいよに 食べたいことかあうん

被<sup>レ</sup>和<sup>レ</sup>同級生を おもひつてい

私に 体ごわし

その後 お目にかかると云う

余にアノリ

そのでも

小学校の友達

九十三年同志

元氣でいってほしい

又 アノリ 謝ると云うといふ

年と昔に

いろんが部か不細か

自<sup>レ</sup>訂<sup>レ</sup>の云

三拍子 そろそろと

歩いて 乾燥かつかると

思うよきに 声を出す

目は 乱視 白内障

全身 そろそろと

身体が 柔らかい

人にとて なる

私も 玉手さんと同じに なる

そろそろと 思う

20 25  
1/2